



ななほしだより

令和2年11月

ななほしキッズ

朝夕は一段と冷え込むようになりましたが、元気な子どもたちは屋間半袖で走り回っています。先月はハロウィンパーティーや、かき狩り、おやつでおいもを食べたり、いろいろな経験をすることができました。今月も体調を整えながら裸足で砂遊びをしたり、秋の自然を求めて散歩に出かけたいと思います。

11月の行事

2日	月	安全点検・園内清掃
4日	水	エコ活動・交通指導
5日	木	避難訓練(火災)・緊急対応訓練
6日	金	小八重牧場見学(2歳児)
9日	月	身体計測・職員会
10日	火	不審者対応訓練・園内研
11日	水	いもほり
12日	木	南消防署見学(2歳児)
13日	金	誕生会
20日	金	職場訪問・安全確認の日
毎週水曜日		リズムふれあいあそび

○4日のエコ活動は野菜や花に水をかけ、近くの公園のゴミ拾いをする予定です。

○20日の職場訪問は勤労感謝の日が近いので、日頃世話になっている加納交流センターなどへ感謝の気持ちを込めてお花を届けます。(ラディッシュの種をまきました・・・プレゼントします)

○20日の安全確認の日では毎日の安全点検でできないところまで十分な確認をして、安全についての話をしたいと思います。

○秋の遠足



紙芝居を毎月、購入しています。子どもたちは、大喜びで集中して、みえています。

・チャイルドさんから紙芝居舞台を頂きました。さらに楽しく視聴出来ます。

★天気の良い日は、散歩にでかけています。公園でさくらんぼリズムをして思いっきり体を動かし楽しんでいます。全身を動かすことによって「脳」に刺激を与えてより良い成長を促すのです。



・川沿いは自然の宝庫！

「かに」みつけ！！



・トロールがいるよーとおおさわぎ！！

・かめ、こいがいるかな～

近所の方から「かき」をいただきました。「かき狩り」を楽しみました。貴重な体験をさせていただきました。



10月27日はハロウィンパーティーをしました。園の近くの窪田さん扮する魔女のルーシーさんが登場すると、子どもたちはびっくりして緊張したり怖がって泣きそうになる子もいましたが、ルーシーさんに紙芝居をしてもらいうちに親しみを覚えたようで食い入るように見ていました。メアリーさんもきて下さいました。子どもたちは仲良くなって、一緒にゲームを楽しみました。最後はルーシーさんに「Trick or Treat!」、と言ってお菓子をもらっていました。





食育



2020年11月

前月収穫した、保育園のさつまいも♡



おやつ時間に、ふかし芋や
芋ご飯のおにぎりにして
食べました！
甘くておいしいお芋、
みんなよく食べていました！



おおきくなっぺね！

みんなで、冬の野菜の種まきをしました。土の上に、大根、にんじん、ごぼう、ほうれんそうの種をまき優しく土をかぶせました。お水を汲んでは「おおきくなあれ！！」と魔法の言葉が自然と出てくる子ども達♡水を汲むのもまくのも上手になりました。



発表会で使う大きなカブの葉っぱづくりをしました。オクラのスタンプや手形スタンプを楽しみながら色塗りをしました！



ラディッシュの種まき、間引き体験をしました。ソーッと優しく他の苗が取れないように間引きました。



チューリップの球根を植えました。卒園式のころに、様々な色のチューリップが咲くのが楽しみです☆





ほしぐみだより



令和2年 11月 小規模保育園ななほしキッズ



今月の保育目標

- 気温の変化や一人ひとりの体調を留意し、健康に無理なく過ごせるようにする。
- 体を十分に動かしたり、身近なものに興味や好奇心をもって遊ぶ。
- 秋の自然物に親しみながら、保育士や友だちと一緒に戸外遊びを楽しむ。



木々の葉が色づき、秋も深まって、散歩や戸外遊びも一段と楽しい季節になりました。子供達は、自分の行きたい所へ行き、いろいろ発見したり、やってみたりと興味もだんだん増えています。ほし組さんは、体を動かす事が大好き！子供達の探索活動を大切にしながら、安全で怪我のないように十分に体を使った遊びを楽しんでいきたいです。



★食欲の秋！大好きな給食を手づかみで食べたり、スプーンを使って食べようと頑張っています。「さわりたい」「自分で食べたい」という気持ちは、意欲を育み、自立を促すうえでも非常に重要です。一人一人が満足のいくまで自分でし、楽しんで食事ができるようにしていきたいと思います。



お願い

☆季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですので体調が悪い時は、些細なことでもお知らせください。

☆半袖、長袖の用意をしていただきましたが、持ち物には、全て記名をお願いします。



自我の芽生え

1歳前半になると、積極的に友達と関わろうとする姿が現れ、関わり始めたばかりの頃は、「よしよし」するつもりが強く叩いて泣かせたり、「好き」という気持ちで強く抱きしめて、相手が嫌がったりします。また、自分が欲しい玩具を友達から取りあげたり、「わかってほしい」という思いがあっても上手く伝える事が出来ず、噛みついたり、ひっかいたりする行動が見られます。こうした子どもの行動は、自我の芽生え、「自分が～したい」と思う気持ちの表れであり、友達に対する興味の結果であったりする事が多く、決して意地悪しようとかいうものではありません。私たち大人が関わり方を知らせたり、互いの気持ちを言葉で代弁したりしながら、子どもの気持ちに寄り添っていききたいと思います。どうぞ、ご理解のうえ、温かく見守ってください。





にじぐみだより

令和2年 11月

小規模保育園

ななほしキッズ

保育目標

- 一人ひとりの欲求や思いを受け止め、友だちとの関わりを援助し情緒の安定を図る。
- 秋の自然に興味を持ち、のびのびと体を動かし、自然を使って遊ぶことを楽しむ。



散歩にたくさん行ったよ!!

朝夕、少しずつ冷えこむ日もあり、秋から冬へ移ろいを感じるようになりました。公園に行ってブランコに乗ったり、鉄棒をしたり、川沿いではどんぐり拾いや階段の上り下りをしたりと行動範囲も活発になり、いろんなことに興味を持って活動をしています。玩具の取り合いなどで自己主張し、自分の思いを通そうとしてトラブルになることも多くなってきました。子ども達の気持ちを尊重し、子ども達に寄り添って関わっていきたいと思います。今月も体調に気をつけながらいろんなところに行きたいと思いますので、体調が悪い時や気になることがある時にはお知らせください。



ハロウィーン

27日(火)は、ルーシーさんが魔女になって来て頂きました。はじめはちょっとビックリして泣いていた子も紙芝居を見たり、ゲームでは夢中になって遊んだりする姿が見られました。ちょっぴり怖かったけど楽しく参加できました。魔女からお菓子をもらいました。



お知らせ

- リズム発表会は来月に記載しますので、是非ご期待下さい。
- 日中はまだ暑いですので、半袖の着替えも2枚は持ってきて下さい。



朝晩、冷え込むようになり、空気も乾燥してきましたね。寒くなってくると、大人はつい子どもにも厚着をさせてしまいがちですが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、寒さは薄手の上着で調節し、できるだけ薄着（大人より1枚少なめが目安）で活動しやすい服装をして、元気に過ごしていきましょう。



11月12日は「皮膚の日」

実は、子どもは大人よりも乾燥肌になりやすい！

大人でも皮膚の厚さはラップ1枚分と言われていますが、赤ちゃんの場合はその半分の薄さで、さらに、子どもの肌表面の皮脂量はほとんどゼロに近くなり、角質層にある保湿物質（水分量やセラミド）の量も大人に比べて大分少なく、特に乾燥しやすい状況にあります。乾燥肌が悪化すると、痒みで掻いて傷を作ってしまうこともあります。痒みが出たり、傷を作る前に、日頃から肌を乾燥させないように注意することが大切です。



お風呂での身体の洗いすぎも乾燥肌の原因になりやすい！

汗をかかない冬には頭、ワキ、陰部、足の裏などの汗のかきやすい場所、手足などの泥だらけになる部分については毎日洗ったほうがいいでしょうが、それ以外のあまり汚れていない部分はシャワーでさっと流す程度で問題ないでしょう。石けんやボディソープで洗わないとすっきりしないというのであれば、しっかり泡立てたものを優しく肌の上で滑らせるように使用するといいでしょう。

お風呂上がりが一番！正しいスキンケアの方法

一般的にはお風呂上りが一番です。でも、赤ちゃんや子どもの場合は入浴中に大量の汗をかいているので、入浴直後に保湿剤を塗ると逆に汗疹が出来ることがあります。少し時間をあけてからがベター。実はお風呂から上がって15分後でも保湿力はそんなに変わりません。添加物の少ない低刺激のベビーローションや保湿クリームなどがいいでしょう。親子のコミュニケーションとしても、お風呂上がりのスキンケアを習慣化させたいですね。

暖房の温度管理で湿度を保つ

室内の湿度の50%以上にするだけでも随分お肌の乾燥は和らぎます。暖房を上げれば上げるほど、湿度は低くなります。暖房を使うときには加湿器を併用して乾燥を防ぎましょう。

睡眠不足や偏った食事、乾燥肌の一因に

生活習慣が乾燥肌を引き起こす場合があります。十分な睡眠時間と質の良い睡眠、栄養バランスのとれた食事を心がけることによって、お肌の状態が改善されることもあります。

<感染症情報>

溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、りんご病、突発性発疹の報告がありました。



風邪症状でお休みする子どもが増えてきました。初期の症状のうちに早めに治しておきたいですね。

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、この冬に向けてインフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があります。インフルエンザの予防接種は、乳幼児の場合、通常2回の接種となります。接種の間隔は2~4週間あける必要があります。子どもの体調を考慮しながら、かかりつけ医と相談しおすすめしましょう。